

# 記入例

## 年間職業能力開発計画

1	年間計画番号	1	2	助成の区分 (該当するものに○を付ける)	① 一般型訓練 <span style="float: right;">○</span> ② 政策課題対応型訓練 ア 若年人材育成コース 1 うち、若者雇用促進法に基づく認定事業主 イ 成長分野等人材育成コース ウ グローバル人材育成コース 1 うち、国内で訓練を実施 2 うち、海外で訓練を実施 エ 熟練技能育成・承継コース 1 うち、熟練技能者の指導力強化のための訓練 2 うち、熟練技能者による技能承継のための訓練 3 うち、認定職業訓練	オ 認定実習併用職業訓練コース カ 自発的職業能力開発コース キ 育休中・復職後等能力アップコース 1 うち、育休中訓練 2 うち、育休復職等訓練 3 うち、育休再就職後訓練 ク 中長期的キャリア形成コース ③ ものづくり人材育成訓練 (企業単独型訓練) 東日本大震災復興対策による特例措置 <span style="float: right;">有</span>			
4	訓練コースの名称	1級建築施工管理技士受験対策講座			5	受講(予定)者数	2	人	
6	訓練の実施期間	初日	28	年	2	月	26	日	
		最終日	28	年	5	月	17	日	
7	総訓練時間数及び 実訓練時間数	(総訓練時間数)			42	時間	00	分	
		(実訓練時間数)			42	時間	00	分	
8	総訓練時間数の内訳 〔認定実習併用職業訓練 コース又はものづくり人材 育成訓練(企業単独型訓練) のみ記載〕	OFF-ITの時間数			O.I.Tの時間数				
		時間	分	時間	分				
9	訓練として行われる職業能力検定の有無	有・ <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">無</span>			10	訓練として行われるキャリア・コンサルティングの有無	有・ <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">無</span>		
11	助成対象労働者の氏名	(様式4-1号に記載してください。中長期的キャリア形成コースの場合は、様式4-2号に記載してください。)							
12	助成対象労働者の所属部署								
13	助成対象労働者の職務内容								
14	助成対象労働者の 職務内容と訓練の関連性	中堅社員向けに1級建築施工管理技士の資格取得を目指す講座を受講させることにより、今後の将来を担う人材の育成を図る。							
16	訓練カリキュラム	(別添資料として添付してください。)							
17	教育訓練機関の名称 及び訓練の実施場所	(株)東北技術検定研修協会 宮城県〇〇市〇〇町〇-〇-〇							

様式3号〔年間職業能力開発計画〕（裏面）

記入上の注意

- ① 1欄の年間計画番号には、訓練コース毎に通し番号をつけてください。他のコースと同じ番号を付けないように注意してください。
- ② 2～3欄は、該当するものに「○」を記入してください。
- ③ 4欄は訓練コースの名称を記入してください。
- ④ 5欄は、訓練の受講（予定）者数を記入してください。
- ⑤ 6欄は、訓練の実施期間の初日と最終日を記入してください。
- ⑥ 7欄の「総訓練時間数」は、計画した訓練時間から昼食等の食事を伴う休憩時間を除いた時間数を記入してください。  
また、「実訓練時間数」は、「総訓練時間数」から移動時間・助成対象とならないカリキュラム等の時間等の除外時間数を除いた時間数を記入してください。
- ⑦ 8欄は、認定実習併用職業訓練コース又はものづくり人材育成訓練（企業単独型訓練）のみ、7欄の総訓練時間数の内訳（座学等（OFF-JT）と実習（OJT）の時間数）を記入してください。
- ⑧ 9欄は、訓練として行われる職業能力検定が計画されているかについて、該当箇所に「○」を付けてください。
- ⑨ 10欄は、訓練として行われるキャリア・コンサルティングが計画されているかについて、該当箇所に「○」を付けてください。
- ⑩ 11～13欄は、様式4－1号（中長期的キャリア形成コースの場合は様式4－2号）を用いて、助成対象労働者の氏名、所属部署、職務内容、雇用保険被保険者番号等を記載してください。
- ⑪ 14欄は、訓練コースの内容と助成対象労働者の職務がどのように直接関連するか具体的に記入してください。